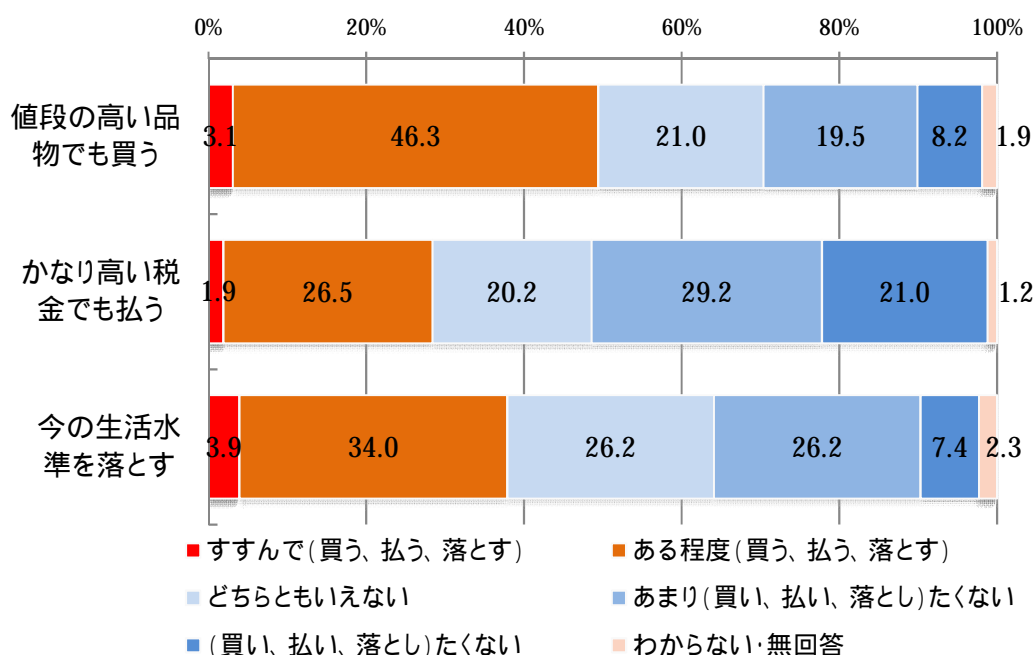


## あなたは、環境を守るためなら、 するつもりがありますか？



現代において豊かな自然環境を維持し、共存し続けるには、相応の負担が必要です。

環境問題を恒常的に意識するようになって久しいですが、あらためて負担意向の有無をたずねてみました。質問内容は ISSP 国際比較調査(環境)2010 に倣い、「買い物」「税金」「生活水準」のケースについて回答してもらいました。

「あなたは、環境を守るためなら、値段の高い品物でも買うつもりがありますか？」との問いに対し「すすんで買う」「ある程度は買うつもりだ」と回答した人は合わせて 49.4%、「あなたは、環境を守るためなら、かなり高い税金でも払うつもりがありますか？」との問いに対し「すすんで払う」「ある程度は払ってもよい」と回答した人は合わせて 28.5%、「あなたは、環境を守るためなら、今の生活水準を落とすつもりがありますか？」との問いに対し「すすんで落とす」「ある程度は落としてもよい」と回答した人は合わせて 37.9%という結果となりました。引用文献：政木みき『負担意識と行動からみる環境への“危機感”～ISSP 国際比較調査(環境)から～』NHK 放送文化研究所編「放送研究と調査 2011 年 4 月号」(P22～37)

### 【調査概要】

調査時期：2011年5月25日(水)～2011年5月31日(火)

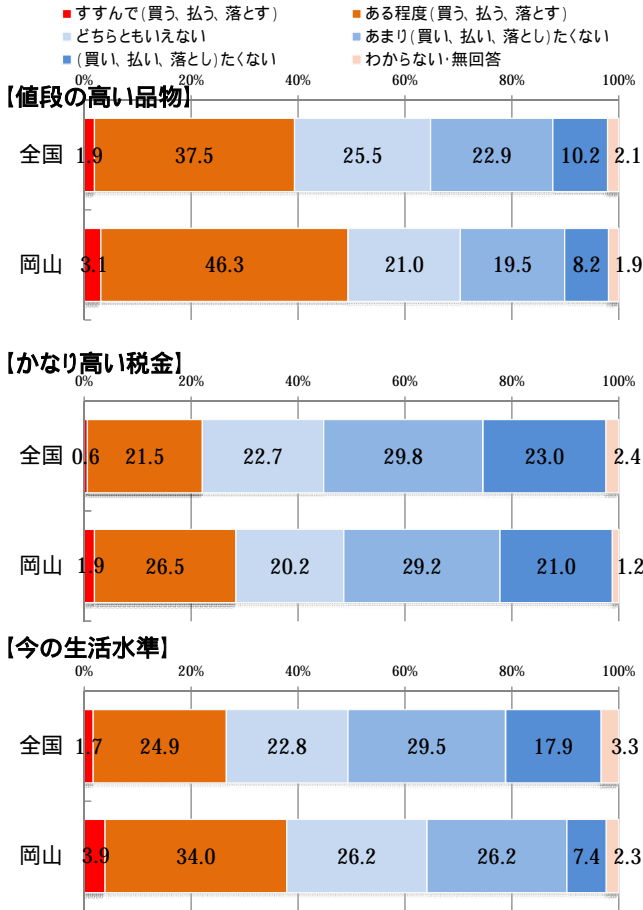
調査対象：岡山県在住の男女 257 名(「岡山生活者意識調査」にご協力いただいているモニター様) 回答率 96%

調査方法：インターネット調査 男性 49.8%、女性 50.2%

20代 21.8%、30代 23.3%、40代 23.0%、50代以上 31.9%

岡山市 37.0%、倉敷市 23.7%、その他県内 39.3%

## 全国との比較



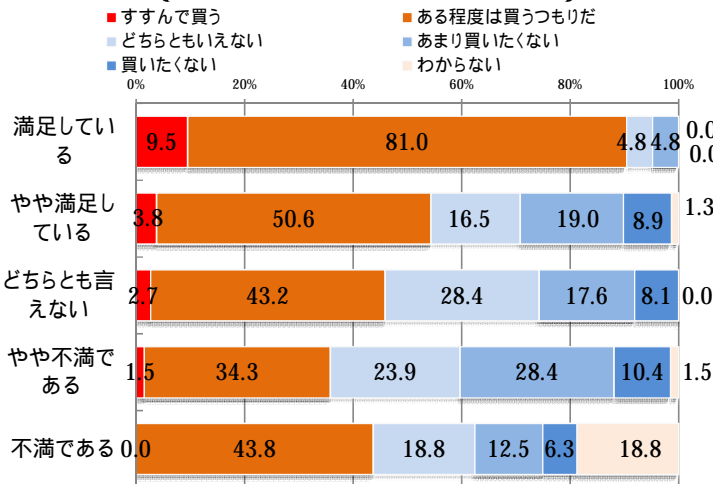
全国の結果(2010年11月末実施)と比較してみると、「値段の高い品物」については、「すすんで買う」「ある程度は買うつもりだ」と回答した人は岡山のほうが10.0ポイント多いという結果でした。「かなり高い税金」については、「すすんで払う」「ある程度は払うつもりだ」と回答した人は、岡山のほうが6.3ポイント多く、「今の生活水準」については、「すすんで落とす」「ある程度は落としてもよい」と回答した人は岡山のほうが11.3ポイント多いという結果でした。

全国の結果は、多様な実情や価値観などから「どちらともいえない」と決めかねる人や負担に否定的な人が多くならざるを得ないと考えられます。また、調査実施日が全国は震災前、岡山は震災後であるため、震災による意識変化の影響が予測されます。岡山が、購入や生活レベルダウンの負担意向が高いのは震災後調査であった影響とも考えられます。

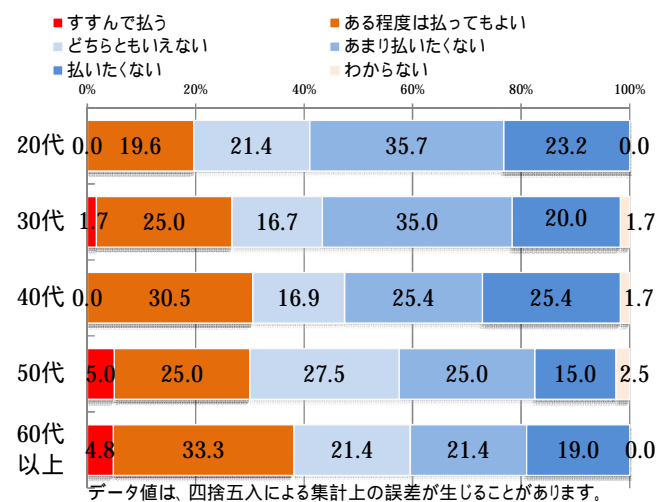
そのような背景の中で、「今の生活水準」に対し「どちらともいえない」と回答した人については、岡山のほうが多いという結果が見られました。自身のライフスタイルにも繋がる問題は、一概には答えを出しにくいのかもかもしれません。

ました。自身のライフスタイルにも繋がる問題は、

### 「値段の高い品物」 (暮らしの総合満足度別・岡山)



### 「かなり高い税金」(年代別・岡山)



「値段の高い品物」については、暮らしに「満足している」人の約9割が肯定的な回答をしました。「かなり高い税金」については、年代が下がる毎に否定的な回答が多くなりました。

本件に関するお問い合わせ

協同組合 岡山情報文化研究所 / 原内  
〒700-0824 岡山市北区内山下1-3-1 電話 086-225-8181  
「岡山トレンドウォッチャー」(<http://www.vis-a-vis.co.jp/>)